



世界と真実

令和8年1月6日

黒田インターナショナルコンサルティング LLC

黒田 毅

政治には必ず背後があり、それが真実である。それらへの対応が唯一正しい施策である。

これら視点における世界の考察は、メディアと乖離した判断を現実要求するものである。

真実は唯一正しい選択を与える基盤であり、それらは各国の情報機関において与えられるものである。

これらが唯一の現実であり、大衆の無知は、現実への参加を与えるものではない。

これら視点はメディアへの正しい理解を与えるものであり、唯一要求されるのは、真実への理解なのである。

これら現実に対して、新たな世界を提案することは、未来への異なる選択を求めることである。

これらは、既存現実に対して異なる未来の提案を得るものであり、それらにおける現実の育成は既存現実に対して新たな選択を世界へ提案するものである。

これらは未来という可能性に対して、世界が新たな現実を有することであり、それらは今日宇宙への拡大を求める新たな未来における異なる基盤を提案するものである。

これが異なる選択における未来の提案であり、それらにおいて現実との対峙は、等しい現実の育成を要求するものである。

今日世界は歴史の岐路に自己を有するものであり、世界の選択は異なる未来を提案するものである。

これら現実へ、我々が参加することは、唯一真実を基盤とした行動を求められるものである。